

R Y O S Y O
両小だより草加市立両新田小学校
学校だより 7月号
令和4年 7月 1日
児童数 435人

自主学習のすすめ

校長 帆玉 敬一

先月の27日（月）に、関東甲信地方の梅雨明けが発表されました。平年より22日早く、昨年より19日早い梅雨明けで、期間としては21日間という観測史上最短の記録を更新したそうです。

この3か月間、何とか大過なく教育活動を続けてこられておりますのも、保護者の皆様をはじめ、PTA役員、学校応援団、地域の皆様のおかげと、心から感謝申し上げます。

さて、本校では7月11日（月）～14日（金）の5日間を「家庭学習がんばり週間」に設定しています。毎日の宿題に加え、自主学習も推奨しています。1年生は20分、2年生は30分、3年生は40分、4年生は50分、5年生は60分、6年生は70分の学習時間を目標に、担任は各クラスで子供たちに声掛けしています。そして、4月から6月までの3ヶ月で、3名の子が自主学習ノートを3冊終わらせることができました。校長室前にある「学びの宇宙」のコーナーで名前を掲示しています。来校した際にはぜひご覧ください。

ちなみに、一万円札の肖像画の人物として有名な福沢諭吉は、著書「学問のすゝめ」で「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり。」と記しています。すべての人は平等であるという有名な一文ですが、さらにこう述べられています。「人は生まれながらにして貴賤貧富の別なし。ただ学問を勤めて物事をよく知る者は貴人となり富人となり、無学なる者は貧人となり下人となるなり。」人は生まれたときは平等であるが、学問をして、物事をよく知る者は偉く、お金持ちになる。無学の者は、卑しくて貧乏になる、人生において学問の大切さを説いています。

本校の課題は、学力向上です。一週間に1回チャレンジタイムを設定し、教科書に準拠した算数プリントに取り組んでいます。少しずつ定着し始め、全クラスでチャイムと同時に静かに集中して学習を行っています。学校では小学生のこの時期に、普段の宿題はもちろん自ら課題を設定して自主的に学習に取り組む習慣を身につけさせ、基礎学力の定着及び向上を目指し、子供たちへ啓発してまいります。今回の「家庭学習がんばり週間」を活用して、ご家庭でもお子様と学問の大切さを話し合ってみてはいかがでしょうか。

夏休みまでの授業日はあと13日となりましたが、これからも猛暑日が続くことが予想されております。熱中症対策（WBGT31以上での運動等禁止）、マスクを外しての登下校や外遊びの奨励など、子供たちの健康管理には十分留意しながら1学期のまとめをきちんと行っていきたいと考えています。今後とも、保護者の皆様をはじめ、学校運営協議会委員の皆様、学校応援団、地域の方々におかれましてはこれまで以上のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。